

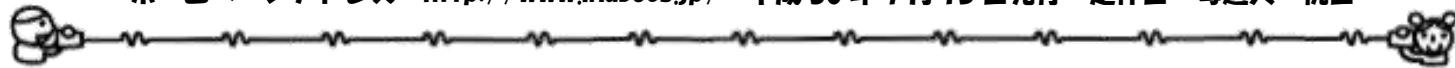
地域の人々による地域の学校づくり

CSコミュニティスクールだより

平成30年
7月号

特定非営利活動法人

企画・編集 いなべこども活動支援センター 〒511-0202 いなべ市員弁町楚原 940 員弁コミュニティプラザ内
TEL (0594)-74-5775 FAX (0594)-74-4986 メールアドレス info@inabecs.jp
ホームページアドレス <http://www.inabecs.jp/> 平成30年7月15日発行 定休日 毎週火・祝日



★夏のオープンスクールにたくさんのご応募ありがとうございました。

ご応募いただきましたのに抽選もれとなってしまいました方々には心より
おわび申し上げます

まだまだ募集中の教室があります。

事務局にお問い合わせください(先着順になります)。

お茶を忘れずに
参加してくださ
いね!



春の山に登ろう

◎オープンスクールが始まります。

今年も暑くなりそうです。体調に気を付け
事故のないようお過ごしください。



いなべめだかの学校



竜ヶ岳に登りました。
変化にとんだコースで
すばらしい眺めでした。
お目当ての白ヤシ
オはほとんど散ってしま
っていたのが残念でした。

カメ・エビ・
カニ・野ビルを
発見!



トンカチとんとん



箱車を作ったよ!

夢と魔法の教室



1年間でピタゴラマシ
ンを完成させます。

ラフリーフラ



あみっ子くらぶ



シュシュを完成させストールを編み始めました。

アートまるごと体験



色紙にぼくじとわりばしで絵を描きました。消しゴムハンコも作って色紙に押ししました。

電子王国への挑戦

ハーブくらぶ



虫よけスプレーとモイストポップづくりを楽しみました。

パソコンの使い方、ローマ字入力、基本プログラムを学びました。



♪ 教室サポーターも募集しています！ お気軽にお問い合わせください ♪

(学生の方にはボランティア証明書を発行します)

きののちおばさんのひとりごと

「ご飯、食へに行つていい？」と週に一度は来る娘からのメールに「welcome」と返信。食卓は娘や孫たちの近況に加え、心と身体の健康確認にもなる大切な時間となっています。「過保護じゃない？」と言われれば「そうだよ」と答えます。過保護は、子どもの望むことに応じてあげること。過干渉は、親が望むことを子どもが望んでいないのにすることだと思っています。「いつまで？」「いつまでよ」(笑)年齢には関係ないと思っています。「いつか」と称しての悲しい出来事が絶えません。女兒の遺した文章に心痛めた86歳男性の詩が毎日新聞投書欄に掲載されていました。「次の世に生まれて来る時は必ず私のとくりに生まれておいで/おいしいものをいっぱい、食べて/思う存分遊んで汗が出たらお風呂と一緒に入ろう/疲れたら一緒に布団に入ろう/子守唄を歌ってあげるから/安心して眠りなさい/毎日まいにちだよ/次の世に生まれてくるまでグッバイ/来世のパパより」子どもは過保護で育ててください。甘えられる人がいて安心して甘えることの出来る場があれば、自然と自立していけるものだと思います。夏休み、出来るだけ家族一緒にご飯を食べてみましょうね。



コミュニティスクールで大切にしたいこと



自分で決められる 自発的・主体的に参加し体験する場を！

学校や家庭では学べないことを 様々な人との出会い・体験から生まれる「生きる力」を身につける場を！

安心の場づくり 存在そのままを受け止められる場を！